

平成 26 年度 9 月以降 新潟市子ども・子育て会議 開催状況

本体会議

平成 26 年度 第 2 回 新潟市子ども・子育て会議	
開催日	平成 26 年 9 月 4 日 (木)
議事	(1)新潟市子ども・子育て支援事業計画について (2)部会報告
平成 26 年度 第 3 回 新潟市子ども・子育て会議	
開催日	平成 26 年 9 月 10 日 (水)
議事	「すこやか未来アクションプラン」平成 25 年度の実施状況について

幼保部会

平成 26 年度 第 3 回 新潟市子ども・子育て会議 幼保部会	
開催日	平成 26 年 10 月 6 日 (月)
議事	(1) 幼保部会の検討事項における子ども・子育て支援事業計画 (素案) について (2)幼稚園・保育園等の利用料について
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画について ○きょうだい別々の保育園に通っている現状について記載し、解決を目指したらどうか。 ○基幹保育園については、きちんと検討したうえで、説明してもらえないか。 ●利用料について ○保育料について、早期に示してほしい。 ○1号認定と2号認定の保育料について、不公平感がないように設定すべきである。

放課後児童クラブ検討部会

第 7 回 新潟市子ども・子育て会議 放課後児童クラブ検討部会	
開催日	平成 26 年 10 月 21 日 (火)
議事	(1)子ども・子育て支援事業計画について (2)ひまわりクラブの運営について
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画について ○子どもふれあいスクールを全小学校で積極的に開設してほしい。 ○子どもふれあいスクールと放課後児童クラブ、各々の機能を大事にしながら、「一体化」ではなく、連携を進めていくことが必要。 ●ひまわりクラブの運営について 《開設時間について》 ○閉じる時間まで利用していいという考えになってしまう。保護者の息抜きや負担軽減もあっても良いが、当たり前となってしまう。本当に必要かどうか分析し、余計な支援はしなくてもよいと考える。

- 子どもと保護者が一緒向き合う時間はとても大切。必要な方に必要な分だけのサービスを提供することで良いと考える。
 - 子どもと保護者の過ごす時間は大切だが、開設時間にも地域性が必要なのではないか。一定時間で区切ることは賛成だが、必要な方のニーズには応えていく必要があるのではないか考える。
 - ニーズにどこまで応えるのかは難しい。子どもにとって家庭生活はとても大切なこと。子どもに好ましい生活リズム、睡眠、食事、コミュニケーション、これらは学力にも関連がある。
- ⇒12月市議会に、児童福祉法の改正等に伴うひまわりクラブ条例の一部改正を提案する際は、開設時間は変更しないことを確認。
- 《そのほか》
- ひまわりクラブ各施設の、受け入れ人数の許容範囲を、定員の何割増しまでなど、定めてもよいのではないか。
 - 各学校の実態に応じて、ひまわりクラブの施設整備、受け入れ対象児童など決める必要がある。今後密に地域、学校と連携しながら、いい状況をつくっていけるといい。